

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 連続的多种健康・環境データ解析に向けたデバイスプラットフォームの創出

2. 個人研究者名

竹井 邦晴（大阪府立大学大学院工学研究科 教授）

3. 事後評価結果

本研究では、人の健康状態、室内環境の複数情報を連続的に計測し、それらの相関関係解析及びビッグデータ化による「未病の発見」や「予防医学」への発展を目指した。本実現に向け、全く新しいコンセプトとして、違和感無く装着可能なフレキシブルな環境・健康管理センサシートシステムの開発を目指した。

まず、実際に使えるウェアラブルフレキシブルセンサを作るという姿勢が一貫している。更に、フィルムセンサの開発から、利用場面まで取り組まれている点が高く評価できる。特に、特性のエビデンスまで含めた検証も行っていることが認められる。結果として、論文数でも際立った業績を残している。

今後は、フレキシブルセンサをフィードバック系に取り入れることで、さらに将来発展できると考える。センサーの開発とともに、実際に使用してもらうためのアプリケーションよりの研究者や企業と組むとよいと思われる。また、欲を言えば、大きなビジョンに欠けており、高スペックのセンサができていますが、何のために、どう活用していくのかの方向性を見出してほしい。